



東地中海地域ニュース

エジプト：ムバーラク大統領のロシア訪問

(3月26日付現地報道)

現地各紙は、26日に行われたムバーラク大統領のロシア訪問について、概要以下の通り報じている。

1. 26日、ムバーラク大統領は、プーチン大統領と首脳会談を行った。首脳会談冒頭、プーチン大統領は、エジプトとロシアの強固で心の通った二国間関係について強調し、ムバーラク大統領による政治・経済分野における二国間関係の強化に向けた取り組みについて称賛した。

- (1) 首脳会談後の共同記者会見において、プーチン大統領は次の通り述べた。
(メドヴェージェフ次期ロシア大統領政権下においても、二国間関係は発展するであろうとの自信を示し) エジプトは、重要なアラブ及びイスラムの国である。
ムバーラク大統領との会談では、パレスチナ情勢の他、イラク、シリア、レバノン、イラン情勢についても話し合われた。
(メドヴェージェフ次期大統領の政治的な見識を評価しつつ、) メドヴェージェフ次期大統領は、常にロシアの意思決定プロセスに携わってきた。
ロシアは、中東和平に関する会議をモスクワで開催することに関して、米国、イスラエル及びアラブ諸国と接触を行っている。

- (2) ムバーラク大統領は、次の通り述べた。
(モスクワ訪問の招待について謝意を表明しつつ) 自分はプーチン大統領の任期中に二国間関係に進展があったことを嬉しく思う。
プーチン大統領との話し合いは、レバノン、パレスチナ、イラク、湾岸地域に関する内容を含み、地域及び国際問題に関する建設的な対話に及んだ。
エジプトとロシアは、パレスチナにおける攻撃拡大の中止、ガザ地区封鎖の解除及び国境の再開に向けて道を開く停戦合意の必要性について意見が一致した。また両国は、パレスチナ・イスラエル間の和平交渉再開に向けた雰囲気醸成の必要性についても意見が一致した。

- (3) ムバーラク大統領はプーチン大統領に対し、5月にエジプトがシャルム・エル・シェイクで開催する世界経済フォーラムへの出席を招待した。

2. 同26日、ムバーラク大統領は、メドヴェージェフ次期大統領と会談を行った。会談中、

ムバーラク大統領は、メドヴェージェフ次期大統領の大統領選挙における勝利を祝福した。ムバーラク大統領は、初対面となるメドヴェージェフ次期大統領との会談に満足していると述べ、両国間の協力が50年以上にわたって保たれている点について指摘した。メドヴェージェフ次期大統領は、エジプト・ロシア関係が深く根ざしていることに言及の上、二国間関係が今後更に発展することを確信していると述べた。

3. エジプト・ロシア二国間のエネルギー協力

- (1) 同 26 日、ユニス・エジプト電力・エネルギー相及びセルゲイ・キリエンコ (Sergey Kirienko) RusAtom 社会長は、平和利用の原子力エネルギー協力に関する協定に署名を行った。同協定により、ロシア企業はエジプトの原子力発電所建設に関する入札への参加が認められることになる。エジプトで初となる原子力発電所の建設費用は、15-20 億米ドルに達すると見られている。

- (2) 署名式後に行われた、ムバーラク大統領とプーチン大統領による共同記者会見においてムバーラク大統領は平和利用の原子力エネルギー協力に関する協定の署名に対する満足感を示した。ムバーラク大統領は今回の協定は透明性及び、核不拡散に対するコミットに基づく国際原子力機関及び国際社会との協力の発展に向けたエジプトの取り組みの一環として実現したものであると述べた。

<参考>

エジプトのムバーラク大統領は、2-3 年に一度のペースでロシアを訪問している。2000 年以降のロシア訪問は、今回で 4 回目。

1 回目：2001 年 4 月

2 回目：2004 年 5 月

3 回目：2006 年 11 月